

大震災・復興ニュース(第107報)

平成25年5月9日

仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 1 測定年月日 平成25年5月2日～5月7日
- 2 測定分析機関 東北緑化環境保全(株),
- 3 測定及び対応結果

全ての検査品目について、基準値を下回り、安全性に問題ないことが確認されました。

水産物(漁獲日 平成25年4月30日)

(単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
サメガレイ	宮城県沖	不検出	マダラ	宮城県沖	不検出

放射性物質の値は漁獲日における値を示す

2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

漁船登録状況

- ・当管内の漁船新規登録(相続を除く)状況は以下のとおりです。
 - ・平成23年度 313件(うち共同利用漁船 62件)
 - ・平成24年度 372件(" 183件)
 - ・平成25年3月末現在の漁船登録隻数は1,754隻となり、被災前の2,875隻の61%となっています。

アサリの麻痺性貝毒検査結果について

- ・松島湾で採取されたアサリについて麻痺性貝毒を検査した結果、下記のとおり検出下限値以下でした。

海域名	検体採取月日	麻痺性貝毒毒力(MU/g)
松島湾 (東松島市萱野崎～七ヶ浜町と仙台市との境)	平成25年5月7日	検出下限値以下

トゲクリガニの出荷自主規制措置について

- ・宮城県南部海域産トゲクリガニの貝毒を分析した結果、下記のとおり国の規制値を上回る麻痺性貝毒が検出されました。これにより、宮城県南部海域産のトゲクリガニについては、5月2日(木)付けで出荷自主規制を講じるよう、関係漁業協同組合に要請するとともに、関係都道府県及び流通関係機関等に通知しています。

海域名	検査判明年月日	麻痺性貝毒毒力(MU/g)
宮城県南部海域 (石巻市黒崎～山元町と福島新地町との境)	平成25年5月2日	4.7

規制値:麻痺性貝毒4.0MU/gを超える値

検査機関:(一財)日本冷凍食品検査協会仙台検査所

塩釜漁港の復旧について

・塩釜漁港の籬(まがき)地区では、東日本大震災により沈下した岸壁を70～80cm嵩上げするなどの復旧工事を平成24年4月から着手していましたが、平成25年7月中に完成する見込みとなりました。

なお、復旧工事が完了した岸壁から順次利用いただいております。現在、岸壁 〇、 〇 の利用が可能となっています。また、岸壁 〇 についても6月初旬からの利用が可能となるよう準備を進めています。

